

## (2) 平成13年6月28日から29日にかけての大雨による災害

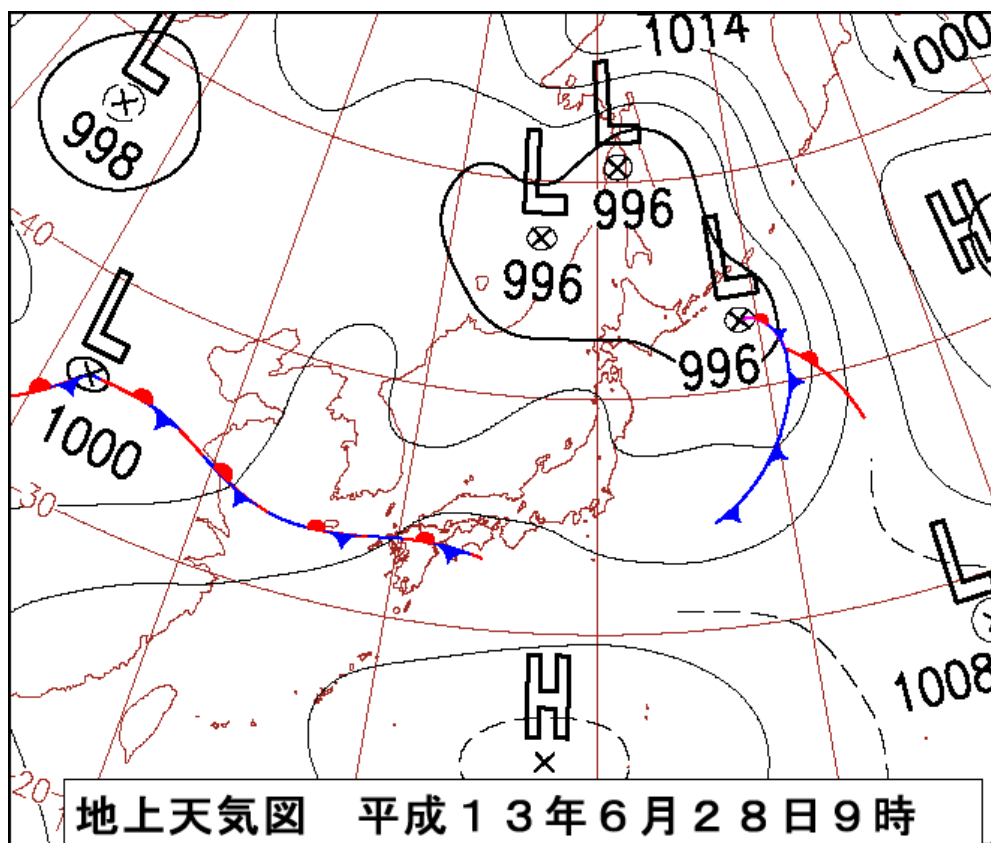
### 気象概況

28日から29日にかけて梅雨前線が九州の北岸付近に停滞した。このため、福岡県では前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となり、両日とも筑後地方を中心に各地で日降水量が50mmを超え、2日間の総雨量が100mmを超えた所もあった。

また、18日から25日にかけて、多いところで500mm前後の先行雨量があったため、少しの雨でも災害が発生しやすい状態となっていた。

2日間の総雨量の多い地点は、久留米120mm、大牟田114mm、甘木92mmなどであった。

また、1時間降水量の多い地点は、大牟田36mm(28日24時)、八幡34mm(29日6時)、久留米33mm(29日9時)などであった。



(福岡管区气象台)